

令和 3 年度

事業報告

令和 4 年

公益財団法人 五島美術館

◆事業報告

I. 庶務事項

1. 理事会および評議員会の開催

<第 112 回理事会>

令和 3 年 6 月 8 日午前 11 時より第 112 回理事会を五島美術館別館講堂にて開催し、下記の議案を審議、可決した。

令和 2 年度事業報告ならびに収支決算等について

令和 3 年度収支予算書の一部修正について

諮問委員の選任について

炉縁等製作に伴う特定資産の一部取り崩しについて

定時評議員会の招集について

<第 104 回評議員会>

令和 3 年 6 月 23 日午前 11 時より第 104 回評議員会(定時評議員会)を東急株式会社本社役員会議室にて開催し、下記の議案を審議、可決した。

令和 2 年度事業報告ならびに収支決算等について

令和 3 年度収支予算書の一部修正について

<第 113 回理事会>

基本財産の取り崩し処分追加の提案の承認の審議事項について、理事全員の同意ならびに監事全員の異議がない旨の確認を得たので、令和 3 年 12 月 13 日付にて、第 113 回理事会として同案を可決した。

審議事項 基本財産の取り崩し処分追加の提案の承認について

<第 105 回評議員会>

基本財産の取り崩し処分追加の承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、令和 3 年 12 月 24 日付にて、第 105 回評議員会として同案を可決した。

審議事項 基本財産の取り崩し処分追加の承認について

<第 114 回理事会>

令和 4 年 3 月 18 日午前 11 時より第 114 回理事会を五島美術館別館講堂にて開催し、下記の議案を審議、可決した。

基本財産の一部取り崩し処分の提案について

令和 4 年度事業計画書ならびに収支予算書等について

評議員会の開催および招集について

<第106回評議員会>

基本財産の一部取り崩し処分の承認、令和4年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、令和4年3月27日付にて第106回評議員会として同案を可決した。

審議事項 基本財産の一部取り崩し処分の承認について
令和4年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認について

2. 官公庁への届出

- ・令和3年6月30日 令和2年度事業報告等の提出……………内閣府
- ・令和4年3月30日 令和4年度事業計画書等の提出……………内閣府

3. 寄附受領等

<寄附金の受領>

令和3年度については寄附金受領の実績なし

<助成金の受領>

令和3年8月17日 「雇用調整助成金」を厚生労働省東京労働局から受領
19,440 円（経常外収益として計上）

令和3年8月19日 「緊急雇用安定助成金」を厚生労働省東京労働局から受領
431,208 円（経常外収益として計上）

令和4年3月10日 「文化財保存修復事業助成金」を公益財団法人三菱財団から受領
2,000,000 円（経常収益・受取補助金等として計上）

令和4年3月25日 「文化芸術振興費補助金(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業)」を文化庁から受領することが確定＝(未収金計上)
241,187 円（経常外収益として計上）

4. 設備投資等

<設備投資等>

設備投資等総額 8,327,140 円(消費税込)

(内訳)

令和3年4月1日 ノートパソコン購入

購入金額 290,290 円(消費税込)

購入先 株式会社カントー

令和3年4月9日 Wi-Fi 設備工事

発注金額 157,850 円(消費税込)

発注先 イッツ・コミュニケーションズ株式会社

令和3年4月30日「紫式部日記絵巻 五島本第一段・第二段・第三段」復元模写作品制作

発注金額 2,000,000 円(消費税込)

発注先 加藤純子氏

令和3年5月20日「炉縁等(古経楼用炉縁2組、富士見亭用炉縁1組、香合)」制作

(7.特定資産の一部取り崩し参照)※一部、経費処理分を含む

発注金額 500,000 円(消費税込)

発注先 株式会社藤森工務店、青木村

令和4年1月18日「武家諸作法拔書」(江戸極初期写)購入

購入金額 132,000 円(消費税込)

購入先 松朋堂

令和4年2月18日 本館中庭埋設雨水管の布設替工事

工事金額 2,420,000 円(消費税込)

発注先 管清工業株式会社

令和4年2月18日 富士見亭水屋排水管の布設替工事

工事金額 220,000 円(消費税込)

発注先 管清工業株式会社

令和4年3月29日 巢庵および隣家との狭地のU字溝およびフェンス布設替工事

工事金額 2,607,000 円(消費税込) = (未払金計上)

発注先 管清工業株式会社

5. 文化財の修復等

「本阿弥切 伝 小野道風筆」修復事業を実施した。

修復費用総額 2,027,659 円(令和3年度分)

※公益財団法人三菱財団から助成金を受領(3.寄附受領等参照)

6. 基本財産の一部取り崩し

新型コロナウイルス感染症感染拡大による東急グループの経営環境悪化に伴い東急株式会社をはじめとする東急グループから寄附金受領が見込めない状況となったため、資産管理規程第5条2項の定める「この法人の事業遂行上やむを得ない場合」に該当すると判断し、定款第5条2項に基づき、理事会、評議員会の承認を得て、基本財産のうち投資有価証券の一部を取り崩して処分し、運転資金の不足額に充当した。

取り崩した金額(総額) 217,215,404 円

(内訳) 代表理事(理事長)による稟議決裁

令和3年5月31日 94,080,000 円 (稟議番号・局3-1号)

令和3年10月31日 50,000,000 円 (稟議番号・局3-21号)

令和4年1月31日 23,135,404 円 (稟議番号・局3-30号)

令和4年3月31日 50,000,000 円 (稟議番号・局3-36号)

7. 特定資産の一部取り崩し

令和2年1月25日に墨林茶会から「茶室整備のために使用する資金」として受け入れた特定資産 500,000 円を理事会の承認を得て取り崩し、長野県小県郡青木村の五島慶太翁の生家（平成30年8月一部焼失）の古材や東京都天然記念物「上野毛のコブシ」（令和元年5月枯死）など五島美術館と縁の深い資材を活用して、茶室で使用する炉縁等（古経楼用炉縁2組、富士見亭用炉縁1組、香合）を製作した（4.設備投資等参照）。

8. 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策

<臨時休館の実施>

令和3年4月25日から政府による「緊急事態宣言」が発出されたことに伴ない、東京都から発表された「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等」に基づき、床面積 1,000 ㎡以上の美術館に対して「休業要請」があったため、五島美術館では、下記のとおり「臨時休館」を実施した。

・臨時休館の期間 令和3年4月25日～5月31日

なお令和3年6月1日から、文化庁の指導の下、公益財団法人日本博物館協会が策定した「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準拠した五島美術館としての「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策」を講じた上で展示公開を再開した。またホームページ上に「五島美術館へご来館される皆様へのお知らせとお願い」（新型コロナウイルス感染症関連）の文書を引き続き掲出公開した。

<イベントの中止・変更等>

展示・公開の再開後も、主催するイベントに関しては「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準拠した五島美術館としての「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策」に沿って、開催の見合わせ、会場収容人数の制限（定員の50%以下）、参加者の氏名・連絡先の把握（受講カード等の配布および回収）など下記の対応を実施した。

- | | |
|-----------|--|
| ・ギャラリートーク | 会場収容人数の制限（定員の50%以下）
参加者の氏名・連絡先の把握
換気の実施
直行直帰・接触確認アプリ（COCOA）奨励等の呼び掛け
（1回を除いて15回は開催見合わせ） |
| ・講演会（特別展） | 会場収容人数の制限（定員の50%以下）
参加者の氏名・連絡先の把握
開催時間の短縮（90分→60分）
換気の実施
直行直帰・接触確認アプリ（COCOA）奨励等の呼び掛け |
| ・こども美術講座 | 開催見合わせ |

・コンサート	会場収容人数の制限(定員の 50%以下) 参加者の氏名・連絡先の把握 開催時間の短縮(120 分→90 分) 途中休憩の廃止 換気の実施 直行直帰・接触確認アプリ(COCOA)奨励等の呼び掛け
・茶室特別公開	茶室内部(畳上)の見学中止 呈茶の中止 (2 回のうち 1 回は「臨時休館」のため開催見合わせ)
・月例美術講座	会場収容人数の制限(定員の 50%以下) 参加者の氏名・連絡先の把握 開催時間の短縮(90 分→60 分) 換気の実施 直行直帰・接触確認アプリ(COCOA)奨励等の呼び掛け (一部については日程変更)
・陶芸講座	開催見合わせ
・茶会	開催見合わせ

9. 環境対策

<「再生可能エネルギー」への転換>

SDGsの活動を推進する一環として、五島美術館で使用する電力の 100%を「世田谷区みうら太陽光発電所」で発電された「再生可能エネルギー」でまかなうため、株式会社東急パワーサプライと下記のとおり「電気需給契約」ならびに「電気需給追加契約」を締結した(本館ロビー内、別館ロビー内および当館ホームページ上で、令和 3 年 11 月 1 日から情報開示)。

- ・契約の相手方＝株式会社東急パワーサプライ
- ・契約期間＝令和 3 年 11 月 1 日～令和 5 年 10 月 31 日

<「せたがや版 RE100」への賛同登録>

世田谷区が推進する「せたがや版 RE100」の主旨(事業運営で使用する電力を 100%「再生可能エネルギー」でまかなうことを目標として掲げる取り組み)に賛同して、「賛同登録」を行った(本館ロビー内、別館ロビー内および当館ホームページ上で、令和 3 年 11 月 1 日から情報開示)。

- ・登録の相手方＝世田谷区 環境政策部 エネルギー施策推進課
- ・登録日＝令和 3 年 11 月 1 日(情報公開日)

以 上

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館(公益目的事業①)

1. 展示事業

1-1. 入館者数

*単位は人

	有料	無料	計	入館者	合計	開館日	一日平均
1 [館蔵]春の優品展—古筆を知る—〈令和3年4月3日[土]～5月9日[日]〉※	1,554	144	1,698	126	1,824	19	96
2 [館蔵]近代の日本画展〈5月15日[土]～6月20日[日]〉※	2,371	211	2,582	38	2,620	18	146
3 [館蔵]夏の優品展—清涼消暑の美—〈6月26日[土]～8月1日[日]〉	2,029	314	2,343	49	2,392	32	75
4 [館蔵]秋の優品展—桃山の華—〈8月28日[土]～10月17日[日]〉	5,041	514	5,555	150	5,705	44	130
5 [特別展]アジアのうつわ—一ど—町田市立博物館所蔵陶磁・ガラス名品展— 〈10月23日[土]～12月5日[日]〉	7,347	982	8,329	644	8,973	38	236
6 [館蔵]茶道具取合せ展〈12月11日[土]～令和4年2月13日[日]〉	4,474	405	4,879	250	5,129	47	109
7 [館蔵]中国の陶芸展〈2月19日[土]～3月27日[日]〉	2,497	303	2,800	256	3,056	32	96
合計	25,313	2,873	28,186	1,513	29,699	230	129

※新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、令和3年4月25日～5月31日まで臨時休館した。1は4月24日にて終了(国宝『源氏物語絵巻 鈴虫一・鈴虫二・夕霧・御法』の特別展示予定期間4月29日～5月8日を含む)、2は6月1日より開始した。

1-2. 特別展

[特別展]アジアのうつわ—一ど—町田市立博物館所蔵陶磁・ガラス名品展—

・主催＝公益財団法人五島美術館 ・協力＝町田市立博物館

・期間＝令和3年10月23日[土]～12月5日[日]

・特別内覧会＝令和3年10月22日[金]……………出席者 106 名

・講演会＝令和3年11月3日[水・祝] 矢島律子氏(鶴見大学文学部文化財学科教授)

「町田市立博物館のアジアのやきもの」……………聴講者 27 名

・講演会＝令和3年11月21日[日] 齊藤晴子氏(町田市立博物館学芸員)

「ガラス工芸の魅力—町田市立博物館のコレクションを中心に—」……………聴講者 30 名

・講演会＝令和3年11月28日[日] 伊藤嘉章氏(町田市立博物館館長)

「工芸は楽しい…町田市博から国際工芸美へ」……………聴講者 24 名

※講演会は各日とも対象を五島美術館友の会会員に限定し、事前予約制で行なった。開催にあたっては定員を80名とし、講座時間を短縮、参加者の氏名・連絡先を把握(受講カードの配布・回収)するなどの感染拡大予防対策を講じた。

1-3. 付帯事業

展示事業に関連して、美術館と展示・収蔵品を全国の不特定多数の方に紹介する効果がある東急グループの「五島美術館名品集カレンダー」の製作・監修を行なった。

また国宝「源氏物語絵巻」をはじめ展示・収蔵品に因んだオリジナルグッズなどの製作・監修、館内ミュージアムショップ等での販売も実施した。

2. 調査・研究・保存事業

2-1. 調査・研究

- ・特別展等に際して、館外所蔵および収蔵作品の調査を行なった。
- ・改修後の展示設備をはじめとする館内設備の調査とデータ蓄積を継続した。
- ・収蔵する図書を整理し、情報の入力を継続した。また宇野雪村旧蔵書籍など貴重書のメンテナンスを行なった。
- ・以上の成果の一部については、展覧会図録および研究紀要にて報告。

2-2. 美術品の保存・補修

- (1)「本阿弥切」一幅の修理事業を行なった(2ヶ年計画 初年度)。令和3年度の修理費は2,027,659円であるが、三菱財団から2,000,000円の補助を受けた。
- (2)経年劣化した「長次郎楽茶碗 銘 千声」仕覆袋、「頼山陽文字入盃」網仕覆および「井戸茶碗 銘 美濃」箱袋を修理。
- (3)作品の展示および貸出に際し、「鉄絵牡丹文壺(絵高麗瓶)」「五彩人物文水注」「飛青磁徳利」「金彩文字天目」「祥瑞胴茶碗」「本阿弥光悦茶杓 銘 暁雪」「加彩雲気文鐘壺」に付属する包み裂を修理した。
- (4)収蔵庫の保存環境向上のため殺虫殺菌に効果のある燻蒸作業を実施した。
 - ・実施期間＝令和3年8月6日～10日(5日間)
 - ・実施業者＝東化研株式会社 ・実施金額＝1,507,000円(消費税込)

2-3. 出版物

- (1)『アジアのうつわわーどー町田市立博物館所蔵陶磁・ガラス名品展一』
 - ・判型＝A4判 ・発行日＝令和3年10月22日
 - ・編集＝五島美術館学芸部
 - ・編集協力(敬称略)＝伊藤嘉章(町田市立博物館館長)・矢島律子(鶴見大学文学部文化財学科教授)・齊藤晴子(町田市立博物館学芸員)・新井崇之(町田市立博物館学芸員)
 - ・発行＝公益財団法人五島美術館 ・頁数＝146頁(カラー112頁、図版96点所収)
- (2)『五島美術館研究紀要』第10号
 - ・判型＝A4判 ・発行日＝令和4年3月31日
 - ・編集＝五島美術館学芸部・大東急記念文庫学芸部
 - ・発行＝公益財団法人五島美術館

2-4. 美術品の他所への出品

- ・大阪市立美術館……………「高鳳翰銘 端溪老坑水巖琴硯」他／計 2 件
「揚州八怪」(期間＝令和 3 年 6 月 12 日～8 月 15 日)
- ・神奈川県立歴史博物館……………重要美術品「雪嶺斎図」／計 1 件
「開基 500 年記念 早雲寺―戦国大名北条氏の遺産と系譜―」(期間＝令和 3 年 10 月 16 日～12 月 5 日)
- ・愛知県陶磁美術館……………「緑釉鉄絵牡丹文長頸瓶」他／計 5 件
「華＊花―四季の花と中国陶磁史―」(期間＝令和 3 年 10 月 9 日～12 月 12 日)
- ・奎星会(東京都美術館)……………「主 宇野雪村筆」他／計 6 件
「第 70 回記念奎星展 奎星会創立 80 周年記念展示 桑鳩・雪村展」(期間＝令和 3 年 11 月 2 日～8 日)
- ・台東区立書道博物館……………「黄庭経 王羲之筆」他／計 6 件
「没後 700 年 趙孟頫とその時代―復古と伝承―」(期間＝令和 4 年 1 月 4 日～2 月 27 日)

計 5ヶ所 20 件

2-5. 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に検討を加えた上で、当館収蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(令和 3 年度は 94 件・のべ 120 点)。

2-6. ホームページ等の運営

五島美術館の公式ホームページ(URL=<https://www.gotoh-museum.or.jp/>)を運用し、インターネット上での美術館や収蔵品の紹介、展覧会の広報活動等を展開した。

3. 普及事業

3-1. 普及事業(当館主催)

(1) ギャラリートーク(展示解説)―入館者を対象にして実施

- ・[館蔵]春の優品展―古筆を知る―

「古筆見のしごと」4 月 16 日[金](別館講堂)……………参加者 28 名

※感染症感染拡大予防のため、以降に予定していたギャラリートーク(計 15 回)は開催を見合わせた。また、開催にあたっては定員を 80 名とし、参加者の氏名・連絡先を把握(受講カードの配布・回収)するなどの感染拡大予防対策を講じた。

(2) 青少年向け普及講座

①こども美術講座―小中学生を対象にして美術や日本文化について解説および体験学習を実施

令和 3 年度は開催を見合わせた。

②小学校への出張講義

令和 3 年度は開催を見合わせた。

③中高生向け講義

令和 3 年度は開催を見合わせた。

(3) 団体見学および団体説明会

館内入場者数制限の都合上、令和3年度は団体見学受入れを休止した。

(4) ミュージアム・コンサート—入館者を対象にして実施

・クアルテット・リゾナンツァによる弦楽四重奏演奏会＝令和3年7月15日[木]

1st Violin＝白井篤／2nd Violin＝山口裕之／Viola＝小野聡／V.Cello＝山内俊輔（敬称略）

プログラム：モーツァルト 弦楽四重奏曲第17番変ロ長調 K.458「狩」

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第10番変ホ長調 Op.74「ハープ」

入場料＝4,500円（友の会4,000円）予約制……………参加者66名

・長唄演奏会—和のこころを聴く＝令和3年10月5日[火]

三味線＝杵屋五三魅、東音 村尾慎三、杵屋五助／唄＝吉住小多紀、杵屋六響、東音 半田昌恵／囃子＝望月秀幸、望月左太寿郎／笛＝福原寛（敬称略）

プログラム：吾妻八景 鳥羽絵 綱館

入場料＝4,500円（友の会4,000円）予約制……………参加者69名

※各コンサート開催にあたっては座席数を80席とし、演奏時間を短縮、参加者の氏名・連絡先を把握（参加者カードの配布・回収）するなどの感染拡大予防対策を講じた。

(5) 茶室特別公開—入館者を対象にして実施

公開日＝令和4年2月2日[水]

普段は公開を制限している登録有形文化財の茶室（古経楼・富士見亭）を特別公開した。

※令和3年5月26日予定の特別公開は「臨時休館」のため開催を見合わせた。公開にあたっては茶室内部（畳上）の見学および呈茶を中止した。

(6) 特別閲覧

美術館、博物館、大学等の研究者を対象として美術品の特別閲覧に対応した。

・青木 佳伶氏他（2名：令和3年4月23日）……………注金剛般若経 計1件

・福島 洋子氏（1名：令和3年6月30日）

……………重要文化財 月江正印墨跡 与鉄舟徳斎送別偈他 計2件

・鍋島 稲子氏他（2名：令和3年7月24日）……………中峰明本墨跡「勸縁疏」他 計9件

・初村 武寛氏（1名：令和3年7月29日）

……………重要美術品 伝奈良県大安寺古墳出土 細線式獣帯鏡他 計4件

・重根 弘和氏他（2名：令和3年10月27日）……………重要文化財 鼠志野茶碗 銘 峯紅葉他 計4件

・村瀬 陸氏（1名：令和3年11月4日・5日）

……………重要美術品 伝奈良県大安寺古墳出土 細線式獣帯鏡他 計3件

・藤田 励夫氏他（4名：令和3年11月12日）……………重要文化財 金峯山埋経 計1件

・内藤 直子氏（1名：令和3年12月16日）

……………前田家伝来 刀装具（「海賦蒔絵刀装具箱」収納作品） 計1件

・岩本 崇氏（1名：令和4年1月18日・19日）……………五鈴乳脚紋鏡他 計10件

・折井 貴恵氏（1名：令和4年1月25日）……………小茂田青樹筆 梅さける村他 計2件

- ・宮崎 健司氏(1名:令和4年3月1日・2日)……重要美術品 得無垢女経(光明皇后願経)他 計2件
- ・宮武 慶之氏(1名:令和4年3月2日)……………重要美術品 伯庵茶碗 銘 冬木他 計2件
- ・降矢 哲男氏他(2名:令和4年3月25日)……………熊川茶碗 銘 千歳他 計2件
- ・柴橋 大典氏他(1名:令和4年3月26日)……………下絵古今集切他 計5件

3-2. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(令和4年3月31日現在)。

3-2-1. 美の友会(定員制度無し・入会した日より1年間有効)

- ・会員数=274名
- ・年会費=4,000円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料、資料代1回につき100円程度必要)。※一部日程変更
- ・陶芸講座の開催(年3回の予定)。※令和3年度は開催見合わせ
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(1) 月例美術講座—美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座(各月1~3回)を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館の収蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。

※令和3年度は、臨時休館期間中の5月に予定した講座を中止し、6月に日程を変更して開催した。なお、開催にあたっては定員を80名とし、講座時間を短縮、参加者の氏名・連絡先を把握(受講カードの配布・回収)するなどの感染拡大予防対策を講じた。

計 30 回実施 聴講者数 [のべ] 1,465 名

・書跡鑑賞シリーズⅪ「はじめての日本書道史」(全10回)

担当=五島美術館学芸部 佐々木佑記

- | | | | |
|------|---------------|-----------------------|---------------|
| 第7回 | 令和3年 4月 3日[土] | 「墨跡と宸翰様—鎌倉・南北朝・室町時代」 | ……………聴講者 65 名 |
| 第8回 | 6月 5日[土] | 「書流の展開と寛永の三筆—桃山・江戸時代」 | ……………66 名 |
| 第9回 | 6月 5日[土] | 「和様と唐様—江戸時代」 | ……………67 名 |
| 第10回 | 7月 3日[土] | 「近代の書の展開」 | ……………44 名 |

*第1~6回は令和2年9月~令和3年3月に実施。臨時休館に伴い5月は休講、第8回(5月1日予定)は第9回と同日開催した。

・染織鑑賞シリーズⅩⅢ「これだけは覚えてたい名物裂」(全5回)

担当=五島美術館学芸部 佐藤留実

- | | | | |
|-----|----------------|--------------------|---------------|
| 第1回 | 令和3年 4月 10日[土] | 「名物裂基礎知識—金襴・緞子・間道」 | ……………聴講者 68 名 |
| 第2回 | 6月 12日[土] | 「高僧の袈裟と名物裂」 | ……………78 名 |

第3回	6月12日[土]	「名画表具と名物裂」	76名
第4回	7月10日[土]	「名物茶入の仕覆(1)」	64名
第5回	9月11日[土]	「名物茶入の仕覆(2)」	65名

*臨時休館に伴い5月は休講、第2回(5月8日予定)は第3回と同日開催した。

・特別展鑑賞シリーズⅡ「アジアのうつわ」(全6回)

担当＝五島美術館学芸部 菅沢そわか(第1～3回)・田代裕一朗(第4～6回)

第1回	令和3年 4月17日[土]	「中国陶磁(1)―漢～唐時代」	聴講者 38名
第2回	6月19日[土]	「中国陶磁(2)―宋時代」	48名
第3回	6月19日[土]	「中国陶磁(3)―元～清時代」	48名
第4回	7月17日[土]	「東南アジア陶磁(1)―ベトナム・ミャンマー」	36名
第5回	9月18日[土]	「東南アジア陶磁(2)―タイ・カンボジア」	21名
第6回	10月16日[土]	「ガラス―鼻煙壺を中心として」	28名

*臨時休館に伴い5月は休講、第2回(5月15日予定)は第3回と同日開催した。

・絵画鑑賞シリーズⅪ「絵巻の鑑賞―西行物語絵巻」(全6回)

担当＝五島美術館学芸部 下山來夏

第1回	令和3年 9月 4日[土]	「西行物語絵巻について」	聴講者 48名
第2回	10月 2日[土]	「徳川美術館蔵 重要文化財 西行物語絵巻」	47名
第3回	12月 4日[土]	「文化庁蔵 重要文化財 西行物語絵巻」	50名
第4回	令和4年 1月 8日[土]	「サントリー美術館蔵 西行物語絵巻」	38名
第5回	2月 5日[土]	「采女本系 西行物語絵巻」	35名
第6回	3月 5日[土]	「西行物語絵巻の広がり」	44名

・陶磁鑑賞シリーズⅨ「名物記にあらわれる茶の湯道具」(全10回)

担当＝五島美術館学芸部 砂澤祐子

第1回	令和3年 10月 9日[土]	「井戸茶碗 銘 美濃と銘 九重」	聴講者 76名
第2回	12月11日[土]	「伯庵茶碗 銘 冬木と銘 朽木」	53名
第3回	令和4年 1月15日[土]	「長次郎赤楽茶碗 銘 夕暮」	61名
第4回	2月12日[土]	「光悦黒楽茶碗 銘 七里」	63名
第5回	3月19日[土]	「瀬戸瓢形茶入 銘 春慶瓢箪」	49名

*第6～10回は令和4年度継続予定。

・古典籍鑑賞シリーズⅢ「江戸の言葉遊びを楽しむ」(全4回)

担当＝大東急記念文庫学芸部 長田和也

第1回	令和3年 12月18日[土]	「〇〇とかけて××と解く―謎かけ」	聴講者 27名
第2回	令和4年 1月22日[土]	「洒落の東西―地口・口合」	23名
第3回	2月19日[土]	「素人芝居いろいろ―俄・茶番」	23名
第4回	3月26日[土]	「絵を読み解く―判じ物」	16名

(2) 陶芸講座—美の友会会員を対象にして実施 *指導＝弘法窯スタッフ
令和3年度は開催を見合わせた。

3-2-2. 茶の友会(定員制度・毎年度4月1日から翌年3月31日まで有効)

・会員数＝1,500名

・年会費＝6,000円

※令和3年度の年会費(令和2年度繰り越し)は原則として令和4年度分に繰り越しとした。

・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。

・特別展の講演会を無料で聴講可能。

・「茶の友会茶会」の開催(年2回・ただし、1回につき実費10,000円程度必要)。

令和3年度は秋季茶会および春季茶会の開催を見合わせた。

・展覧会や催物の案内を発送。

・「美の友会月例美術講座」を聴講可能(聴講料・資料代1回につき600円程度必要)。

3-3. 外部との連携事業

(1) 他美術館との連携事業

・「秋の三館 美をめぐる」三井記念美術館・根津美術館・五島美術館 三館合同キャンペーン

令和3年度は企画を見合わせた。

・Bunkamura とのタイアップ企画

東急文化村が運営するMY Bunkamura 登録者(約66万人)を対象とした情報発信等を通じてタイアップ企画を実施し、展覧会の告知と集客促進を図った。

①[館蔵]秋の優品展—桃山の華—「リアルモチーフタオル〈夕暮〉プレゼント」

応募期間 令和3年8月14日～27日 応募者120名／当選者10名

②[特別展]アジアのうつわ—一どー町田市立博物館所蔵陶磁・ガラス名品展—「図録プレゼント」

応募期間 令和3年10月1日～17日 応募者123名／当選者10名

③[館蔵]茶道具取合せ展「2022年カレンダー〈五島美術館名品集〉プレゼント」

応募期間 令和3年11月29日～12月12日 応募者214名／当選者10名

④[館蔵]中国の陶芸展「オリジナル古鏡ミラープレゼント」

応募期間 令和4年1月29日～2月13日 応募者296名／当選者5名

(2) 近隣館との連携事業

・静嘉堂文庫美術館 相互割引提携

静嘉堂文庫美術館との相互割引を実施(平成28年8月27日より実施)。静嘉堂文庫美術館(常時)の有料入館券の半券提示で当館一般入館料から100円割引、当館有料入館券の半券提示で静嘉堂文庫美術館の正規入館料から200円を割引く(同館は展示ギャラリー移転に伴い令和3年6月14日より休館)。令和3年度、当館における割引利用入館者は48名。

・世田谷美術館 相互割引提携

世田谷美術館との相互割引を実施(平成29年4月1日より実施)。世田谷美術館(常時)の企画展の有料観覧券の半券提示で当館一般入館料から100円割引、当館有料入館券の半券提示で世田谷美術館の正規観覧料を団体料金(原則200円引き)に割引く。令和3年度、当館における割引利用入館者は15名。

(3) 東急グループとの連携事業

・[館蔵]秋の優品展―桃山の華―「特別鑑賞会」(東急グループ主催)

令和3年10月11日 特別展示他(別館講堂・本館展示室) ……参加者197名(うち招待者129名)

・東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」特別貸切鑑賞会

令和3年度は開催しなかった。

・東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」特別鑑賞デー

令和3年度は開催しなかった。

・東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」メンバーズマガジン『Fino』プレゼント企画

『Fino』11月号／2022年カレンダー「五島美術館名品集」(抽選150名)

・東急グループ主催「とうきゅうキッズプログラム」〈美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう！〉

令和3年度は開催しなかった。

・オズモール×東急グループコラボプロジェクト「キラリプラスカレッジ」

令和3年度は開催しなかった。

・「キネコ国際映画祭」運営・告知協力

地域における文化の振興・普及活動の一環として、東急グループがプリンシパル・パートナーを務めた「キネコ国際映画祭」の運営・告知に協力して、同映画祭の保坂展人チェアマン(世田谷区長)、野本弘文プレジデント(東急グループ代表)、戸田恵子ゼネラルディレクターによる鼎談(映画祭のタブロイド紙に掲載)の開催等を実施。

(4) 大学との連携事業

・共立女子大学との連携事業

文化財保護・保存を推進し、学術研究機能の向上と人材の育成に寄与することを目的として、共立女子大学との連携事業を実施。令和3年度は、「遠州好唐木七宝透し風炉先屏風」「遠州好金銅風炉先屏風」2件の収納袋の新規作成検討・制作を行なった。

3-4. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第1条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、新型コロナウイルス感染予防対策をとりつつ指導を行なった(実習生2大学2名)。

・期間＝令和3年11月2日～16日 計12日間(8日・9日・15日休)

・実習生＝清泉女子大学 文学部 文化史学科……………1名
青山学院大学 総合文化政策学部 総合政策学科……………1名

3-5. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

美術品写真撮影、美術品修理、館内諸会議などに使用。

(2) 別館講堂

当館理事会(令和3年6月8日他)、当館主催「ギャラリートーク」(令和3年4月16日)、当館主催「美の友会月例美術講座」(令和3年4月より毎月1〜3回)、当館主催「講演会」(令和3年11月3日他)、当館主催「ミュージアム・コンサート」(令和3年7月15日、10月5日)、東急グループ主催「特別鑑賞会」(令和3年10月11日)などに使用。

(3) 第二講堂(見晴荘)

令和3年度は当館主催行事としての使用は無く、一般への貸出も制限した。

(4) 茶室(古経楼、富士見亭)

当館主催「茶室特別公開」(令和4年2月2日)、東急グループ主催「特別鑑賞会」(令和3年10月11日)に使用、一般への貸出は中止した。

4. その他

4-1. その他の協力事業および会議等への派遣

(1) 第29回全国博物館長会議への参加(館長、令和3年6月1日、オンライン開催)。

(2) 第1回全国美術館会議社員総会への参加(館長、令和3年6月4日、オンライン開催)。

(3) 公益財団法人日本博物館協会の監事として館長が第29回理事会に出席(令和3年6月7日、黒田記念館〈Zoom併用〉)。

(4) 公益財団法人日本博物館協会の監事として館長が第10回評議員会に出席(令和3年6月23日、黒田記念館〈Zoom併用〉)。

(5) 公益財団法人東京オペラシティ文化財団の評議員(評議員会議長)として館長が定例評議員会に出席(令和3年6月24日、東京オペラシティ会議室〈Zoom併用〉)。

(6) 私立美術館会議幹事会に事務局として出席(館長他2名、令和3年8月25日、リモート開催)。

(7) 私立美術館会議幹事会に事務局として出席(館長他2名、令和3年11月4日、リモート開催)。

(8) 第69回 全国博物館大会 北海道大会への参加(館長他1名、令和3年11月17日〜19日、道立道民活動センターかでる・国立アイヌ民俗博物館〈ウボポイ〉)。

(9) ぐるっとパス2022 実行委員会第1回総会への参加(館長、令和3年12月2日、東京都江戸東京博物館)。

(10) 公益財団法人日本博物館協会の監事として館長が第32回理事会に出席(令和4年3月8日、黒田記念館〈Zoom併用〉)。

- (11) 公益財団法人東京オペラシティ文化財団の評議員(評議員会議長)として館長が定例評議員会に出席(令和4年3月9日、東京オペラシティ会議室〈Zoom 併用〉)。
- (12) 玉川大学の依頼により、学芸員を東洋美術史の非常勤講師として派遣。
- (13) 清泉女子大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (14) 京都造形芸術大学の依頼により、学芸員を芸術学部通信教育部の非常勤講師として派遣。
- (15) 長岡造形大学の依頼により、学芸員を美術工芸史の非常勤講師として派遣。
- (16) 獨協大学の依頼により、学芸員を国際教養学部の非常勤講師として派遣。
- (17) 愛知県立芸術大学の依頼により、学芸員を美術学部の非常勤講師として派遣。
- (18) 日本博物館協会の依頼により、学芸員を「博物館研究」編集委員として派遣。
- (19) 乃村文化財団の依頼により、学芸員を選考委員として派遣。
- (20) 日本工芸会の依頼により、学芸員を第 68 回日本伝統工芸展第一次鑑査委員として派遣(令和3年8月4日)。
- (21) 裏千家淡交会東京第六支部の依頼により、学芸員を同会へ講演会講師として派遣(令和3年9月26日)。
- (22) 岡山市立オリエント美術館の依頼により、学芸員を美術資料選択評価委員として派遣(令和4年2月14日)。
- (23) 日本工芸会東日本支部の依頼により、学芸員を第 62 回東日本伝統工芸展鑑査委員として派遣(令和4年2月22日)。
- (24) 九州国立博物館の依頼により、学芸員を同館列品等修理請負候補選定委員会委員委嘱(～令和4年3月31日)。
- (25) 第 68 回日本伝統工芸展(全国 10 都市にて開催、会期＝令和3年9月～令和4年3月)副賞に協賛。
- (26) 世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール学園祭に協賛。

4-2. 学会・研究会

- (1) 東アジア日本研究者協議会 第 5 回国際学術大会(令和3年11月27日、オンライン開催)、東洋陶磁学会 第 3 回研究会(令和4年2月5日、オンライン開催)にて研究成果を発表。
- (2) 美術史学会、東洋陶磁学会、茶の湯文化学会、韓国美術史学会、書学書道史学会(以上大会・例会および研究会)に出席(オンライン開催を含む)。
- (3) 源氏絵データベース研究会、茶書研究会、書芸術研究会、関西書画コレクション研究会に参加(オンライン開催を含む)。
- (4) パナソニック汐留美術館 第 20 回学芸員照明研究会(令和4年3月2日、オンライン開催)に参加。

[2] 大東急記念文庫(公益目的事業②)

1. 閲覧事業

1-1. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数		19	0	22	27	4	26	23	25	17	23	20	24	230 日
閲覧者数		6	1	3	5	2	7	6	8	5	4	1	5	53 人
閲覧 図書	国書	24	0	24	35	0	5	15	9	0	1	0	4	117 点
	漢籍	1	0	0	0	1	4	1	5	2	2	0	0	16 点
	仏書	2	1	0	0	14	17	4	0	2	0	5	5	50 点
	その他	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2 点
計		28	1	24	35	15	26	20	15	4	3	5	9	185 点

※新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、五島美術館の臨時休館期間(令和3年4月25日～5月31日)は閲覧を休止した。

(2) 団体閲覧

・令和3年11月27日 慶應義塾大学大学院生ほか(53点/於集会室)……………7名

1-2. 展示

(1) 他所への貸出

- ・神奈川県立金沢文庫……………重要文化財「騎獅文殊像内納入文書」のうち2巻/計1件
特別展「春日神霊の旅—杉本博司 常陸から大和へ—」(期間=令和4年1月29日～3月21日)
- ・九州国立博物館……………重要文化財「高僧像」/計1件
特別展「最澄と天台宗のすべて」(期間=令和4年2月8日～3月21日)

計 2ヶ所 2件

(2) 五島美術館への出陳

- ・[館蔵]春の優品展—古筆を知る—
……………重要文化財「手鑑」・「御手鑑」・「古筆名葉集」・「源氏物語 古活字版」他/計6件
- ・[館蔵]近代の日本画展
特集展示「蔦屋重三郎と江戸の戯作者」(展示室2)
……………「明月餘情」・「傾城買四十八手」・「御存商売物」・「大田南畝書簡集」他/計34件
- ・[館蔵]夏の優品展—清涼消暑の美—
……………「山水屏風」・「十番虫合」・「水月観音像」・「伶俐怪異話」他/計12件
- ・[館蔵]秋の優品展—桃山の華—
……………「明智光秀自筆書状集」・「加藤清正像」・「四季花鳥図屏風」他/計20件
- ・[館蔵]茶道具取合せ展
……………「豊臣秀吉消息 お祢宛」・「布袋之図自画賛」「茶室起絵図」他/計4件

2. 調査・研究・保存事業

2-1. 図書調査

国文学研究資料館の依頼により、最明寺(神奈川県大井町)の文献資料調査を行なった。

2-2. 図書収集

(1) 閲覧参考資料

「人物叢書」等を継続購入中である。

(2) 出版文化史参考資料

令和3年度は購入しなかった。

(3) 古典籍参考資料

収蔵品の「武家諸作法抜書」(江戸極初期写、10冊)の、新出の僚巻3冊を購入した。

2-3. 図書保存

(1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行なった。

(2) 収蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。

(3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期し、予防策として防塵防黴施工(IPM＝総合的有害生物管理)を実施した。

(4) 不慮の災害に備え、写真撮影による副本作りを行なった。令和3年度は、「大般若波羅蜜多經」「無量寿如来修観行供養儀軌」等を撮影した。

2-4. 図書修理

令和3年度は行わなかった。

2-5. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)

(1) 頒布

- ・機関誌『かがみ』第52号(令和4年3月31日発行)
- ・『典籍逍遙一大東急記念文庫の名品』(平成19年3月31日発行)
- ・『狩谷棧斎と経籍訪古志一大東急記念文庫所蔵の漢籍から』(令和元年6月10日発行)
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇(汲古書院)——継続刊行中
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇(全18巻別巻1巻)(汲古書院)
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集(勉誠出版)
- ・マイクロフィルム版『江戸文学総瞰』『物語文学総瞰』(丸善雄松堂)

2-6. 普及

(1) 出版物受贈(主なもの)

- ・『小中村清矩日記』1冊(大沼宜規氏)
- ・『皇室制度史料 儀制 大嘗祭一』(宮内庁書陵部)

- ・『東京市史稿 産業篇 第六十一』 1 冊(東京都公文書館)
- ・『柳川市の歴史 5 柳河藩の政治と社会』 1 冊(柳川市)

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

・各種団体

池坊華道会、板橋区立郷土資料館、亀岡市文化資料館、小松市教育委員会、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館等

・出版社等

朝日新聞出版、NHK大阪放送局、京都書房、思文閣出版、勉誠出版、法藏館、読売新聞等

・個人

研究者等 7 名

2-7. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

- (1) 国文学研究資料館の学術資料委員会委員としてリモート会議に出席した。
- (2) 日本近世文学会 2021 年度秋季大会(令和 3 年 11 月 20 日～21 日、オンライン開催)のシンポジウムに登壇者の一人として参加した。
- (3) 根津美術館蔵古典籍類の調査に協力した。
- (4) 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館の複製品制作にあたり、指導・監修を行なった。
- (5) 国文学研究資料館の地域資料専門部会委員として文献資料調査に参加した。

貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	50,834,497	30,460,835	20,373,662
未収金	6,794,189	4,559,611	2,234,578
前払金	2,420,364	2,637,595	△ 217,231
棚卸資産	25,027,890	27,315,578	△ 2,287,688
有価証券	0	1,864,596	△ 1,864,596
仮払金	44,000	595,700	△ 551,700
流動資産合計	85,120,940	67,433,915	17,687,025
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地 (指定)	1,139,685,568	1,139,685,568	0
建物 (指定)	1,084,053,532	1,153,091,561	△ 69,038,029
立木 (指定)	1,000,000	1,000,000	0
美術品 (指定)	1,139,933,891	1,139,435,206	498,685
古典籍 (指定)	133,700,570	133,700,570	0
美術品 (一般)	2,000,000	0	2,000,000
什器備品 (一般)	490,003	980,002	△ 489,999
投資有価証券 (一般)	511,143,653	728,359,057	△ 217,215,404
基本財産合計	4,012,007,217	4,296,251,964	△ 284,244,747
(2) 特定資産			
積立預金 (指定)	66,000,000	66,500,000	△ 500,000
特定資産合計	66,000,000	66,500,000	△ 500,000
(3) その他固定資産			
建物 (一般)	5,202,966	0	5,202,966
美術品 (一般)	194,959,325	194,959,325	0
古典籍 (一般)	165,000	33,000	132,000
什器備品 (一般)	5,374,673	7,395,338	△ 2,020,665
ソフトウェア (一般)	1,887,093	3,130,115	△ 1,243,022
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	207,639,057	205,567,778	2,071,279
固定資産合計	4,285,646,274	4,568,319,742	△ 282,673,468
資産合計	4,370,767,214	4,635,753,657	△ 264,986,443
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,103,595	10,788,723	△ 4,685,128
前受金	7,680,000	7,620,000	60,000
預り金	1,953,937	1,993,276	△ 39,339
流動負債合計	15,737,532	20,401,999	△ 4,664,467
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,573,452	4,230,625	△ 1,657,173
固定負債合計	2,573,452	4,230,625	△ 1,657,173
負債合計	18,310,984	24,632,624	△ 6,321,640
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,564,373,561	3,633,412,905	△ 69,039,344
(うち基本財産への充当額)	(3,498,373,561)	(3,566,912,905)	(△ 68,539,344)
(うち特定資産への充当額)	(66,000,000)	(66,500,000)	(△ 500,000)
2. 一般正味財産	788,082,669	977,708,128	△ 189,625,459
(うち基本財産への充当額)	(513,633,656)	(729,339,059)	(△ 215,705,403)
正味財産合計	4,352,456,230	4,611,121,033	△ 258,664,803
負債及び正味財産合計	4,370,767,214	4,635,753,657	△ 264,986,443

財産目録

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金	2,377,915	
	預金	普通預金	運転資金	47,581,671	
		みずほ上野毛①		44,311,668	
		みずほ上野毛③		858,682	
		みずほ上野毛④		3	
		三菱UFJ玉川①		2,411,318	
		定期預金	運転資金	874,911	
		みずほ上野毛①定期		500,000	
		三菱UFJ定期		374,911	
	未収金		売掛金	6,794,189	
前払金		次年度展覧会準備費用	2,420,364		
棚卸資産		図録・ショップ商品	25,027,890		
仮払金			44,000		
流動資産合計				85,120,940	
(固定資産) 基本財産	土地	世田谷区上野毛3-9-25		4,012,007,217	
	土地(指定)	19903.86平米	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	1,139,685,568	
	建物			1,084,053,532	
	建物(指定)	本館・別館・茶室2棟・陶芸教室	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	1,084,053,532	
	立木			1,000,000	
	立木(指定)	樹木・石造物	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	1,000,000	
	美術品			1,139,933,891	
	美術品(指定)	美術工芸品 2,615件 (定款上の不可欠特定財産)	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	1,134,221,000	
	美術品(指定)	美術工芸品 5件	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	5,712,891	
	古典籍			133,700,570	
	古典籍(指定)	古典籍 21,835冊 (定款上の不可欠特定財産)	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	131,705,570	
	古典籍(指定)	古典籍 291冊	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	1,995,000	
	美術品			2,000,000	
	美術品(一般)	美術工芸品 1件	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	2,000,000	
	什器備品			490,003	
	什器備品(一般)	展示用備品・收藏棚	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	490,003	
	投資有価証券			511,143,653	
	投資有価証券(一般)	国債・社債・株式	公益目的保有財産であり運用益を公益目的事業の財源としている。	511,143,653	
	特定資産	積立預金			66,000,000
		積立預金(指定)	三菱UFJ・みずほ	公的目的事業及び管理運営のための資産である。	66,000,000
	その他固定資産				207,639,057
		建物(一般)	排水管工事	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	5,202,966
		美術品(一般)	美術工芸品 2,160件	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	194,959,325
		古典籍(一般)	古典籍 2冊	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	165,000
		什器備品(一般)	パソコン・事務機器	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	5,374,673
		ソフトウェア(一般)	源氏物語絵巻ビデオ・事務機器	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	1,887,093
		保証金			50,000
	固定資産合計				4,285,646,274
	資産合計				4,370,767,214
	(流動負債)	未払金		買掛金	6,103,595
前受金			次年度茶の友会会費	7,680,000	
預り金			社会保険料	1,953,937	
流動負債合計				15,737,532	
(固定負債)	退職給付引当金			2,573,452	
固定負債合計				2,573,452	
負債合計				18,310,984	
正味財産				4,352,456,230	

予算対比正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[6,561,000]	[6,303,662]	[257,338]
特定資産運用益	[0]	[845]	[△ 845]
公益事業収益	[118,965,000]	[64,858,744]	[54,106,256]
受取補助金等	[2,000,000]	[2,000,000]	[0]
受取寄付金	[69,528,000]	[69,039,344]	[488,656]
雑収益	[50,000]	[3,496,744]	[△ 3,446,744]
経常収益計	197,104,000	145,699,339	51,404,661
(2) 経常費用			
事業費	[327,723,000]	[303,163,351]	[24,559,649]
管理費	[32,350,000]	[32,853,282]	[△ 503,282]
経常費用計	360,073,000	336,016,633	24,056,367
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 162,969,000	△ 190,317,294	27,348,294
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 162,969,000	△ 190,317,294	27,348,294
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	[0]	[691,835]	[△ 691,835]
経常外収益計	0	691,835	△ 691,835
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	691,835	△ 691,835
当期一般正味財産増減額	△ 162,969,000	△ 189,625,459	26,656,459
一般正味財産期首残高	977,708,128	977,708,128	0
一般正味財産期末残高	814,739,128	788,082,669	26,656,459
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	[△ 69,528,000]	[△ 69,039,344]	[△ 488,656]
当期指定正味財産増減額	△ 69,528,000	△ 69,039,344	△ 488,656
指定正味財産期首残高	3,633,412,905	3,633,412,905	0
指定正味財産期末残高	3,563,884,905	3,564,373,561	△ 488,656
III 正味財産期末残高	4,378,624,033	4,352,456,230	26,167,803

予算対比正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[6,561,000]	[6,303,662]	[257,338]
基本財産受取利息	4,738,000	4,659,084	78,916
基本財産受取配当	1,823,000	1,644,578	178,422
特定資産運用益	[0]	[845]	[△ 845]
特定資産受取利息	0	845	△ 845
公益事業収益	[118,965,000]	[64,858,744]	[54,106,256]
展示事業収益	51,757,000	24,161,623	27,595,377
調査研究事業収益	5,970,000	3,080,069	2,889,931
普及事業収益	14,620,000	821,800	13,798,200
文庫事業収益	1,700,000	1,354,500	345,500
カレンダー収入	35,818,000	30,752,184	5,065,816
売店収入	9,100,000	4,688,568	4,411,432
受取補助金等	[2,000,000]	[2,000,000]	[0]
受取補助金その他	2,000,000	2,000,000	0
受取寄付金	[69,528,000]	[69,039,344]	[488,656]
受取寄付金振替額	69,528,000	69,039,344	488,656
雑収入	[50,000]	[3,496,744]	[△ 3,446,744]
受取利息	0	829	△ 829
雑収入	50,000	3,495,915	△ 3,445,915
経常収益計	197,104,000	145,699,339	51,404,661
(2) 経常費用			
事業費	[327,723,000]	[303,163,351]	[24,559,649]
役員報酬	5,881,000	5,893,008	△ 12,008
給料	93,478,000	96,800,241	△ 3,322,241
臨時雇賃金	15,442,000	11,192,518	4,249,482
退職給付費用	12,836,000	11,144,013	1,691,987
福利厚生費	16,704,000	16,896,198	△ 192,198
旅費	346,000	0	346,000
交通費	202,000	340,567	△ 138,567
交際費	102,000	82,584	19,416
通信費	5,306,000	4,028,053	1,277,947
減価償却費	69,500,000	69,333,439	166,561
消耗什器備品費	1,556,000	1,718,673	△ 162,673
消耗什器備品費	1,253,000	1,694,214	△ 441,214
修繕費	7,000,000	6,531,949	468,051
修繕費	2,000,000	2,661,519	△ 661,519
印刷製本費	11,741,000	6,896,188	4,844,812
宣伝費	8,556,000	6,460,974	2,095,026
光熱費	7,290,000	7,030,235	259,765
保険料	896,000	848,016	47,984
諸謝金	150,000	77,959	72,041
租税公課	520,000	1,450	518,550
庭園管理費	5,046,000	4,161,724	884,276
委託費	13,475,000	13,023,673	451,327
展覧会費	8,475,000	5,355,633	3,119,367
催物費	10,586,000	3,223,792	7,362,208
調査研究費	5,500,000	8,127,565	△ 2,627,565
雑費	1,118,000	758,644	359,356
カレンダー制作費	16,500,000	15,419,547	1,080,453
シヨッ プ原価	6,264,000	3,460,975	2,803,025
管理費	[32,350,000]	[32,853,282]	[△ 503,282]

科 目				予算額	決算額	差 異	
役 員 報 酬	給 料 手 当			3,920,000	3,928,672	△	8,672
退 職 給 付 費				17,049,000	17,315,458	△	266,458
福 利 厚 生 費				1,425,000	1,905,182	△	480,182
会 費				2,765,000	2,888,577	△	123,577
旅 費				310,000	293,731		16,269
交 通 費				398,000	3,435		394,565
通 信 運 賃 費				210,000	319,132	△	109,132
減 価 償 却 費				338,000	110,154		227,846
消 耗 什 器 備 品 費				3,660,000	3,950,450	△	290,450
消 耗 品 費				53,000	0		53,000
印 刷 製 本 料 費				105,000	6,105		98,895
光 熱 水 料 費				64,000	71,390	△	7,390
諸 謝 金 費				379,000	366,663		12,337
雑 費				1,464,000	1,621,523	△	157,523
				210,000	72,810		137,190
經常費用計				360,073,000	336,016,633		24,056,367
評価損益等調整前当期經常増減額				△ 162,969,000	△ 190,317,294		27,348,294
評価損益等計				0	0		0
当期經常増減額				△ 162,969,000	△ 190,317,294		27,348,294
2. 經常外増減の部							
(1) 經常外収益							
雑 収 益				[0]	[691,835]	[△	691,835]
經常外収益計				0	691,835	△	691,835
(2) 經常外費用							
經常外費用計				0	0		0
当期經常外増減額				0	691,835	△	691,835
当期一般正味財産増減額				△ 162,969,000	△ 189,625,459		26,656,459
一般正味財産期首残高				977,708,128	977,708,128		0
一般正味財産期末残高				814,739,128	788,082,669		26,656,459
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額				[△ 69,528,000]	[△ 69,039,344]	[△	488,656]
受取寄付金				△ 69,528,000	△ 69,039,344	△	488,656
当期指定正味財産増減額				△ 69,528,000	△ 69,039,344	△	488,656
指定正味財産期首残高				3,633,412,905	3,633,412,905		0
指定正味財産期末残高				3,563,884,905	3,564,373,561	△	488,656
III 正味財産期末残高				4,378,624,033	4,352,456,230		26,167,803

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位:円)

科 目	公益事業会計				法人会計	合計
	美術館	文庫	公益共通事業	小計	法人	
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用収益	[0]	[0]	[6,303,662]	[6,303,662]	[0]	[6,303,662]
基本財産受取利息	0	0	4,659,084	4,659,084	0	4,659,084
基本財産受取配当	0	0	1,644,578	1,644,578	0	1,644,578
特定資産運用収益	[0]	[0]	[845]	[845]	[0]	[845]
特定資産受取利息	0	0	845	845	0	845
公益事業収益	[63,504,244]	[1,354,500]	[0]	[64,858,744]	[0]	[64,858,744]
展示事業収益	24,161,623	0	0	24,161,623	0	24,161,623
調査研究事業収益	3,080,069	0	0	3,080,069	0	3,080,069
普及事業収益	821,800	0	0	821,800	0	821,800
文庫事業収益	0	1,354,500	0	1,354,500	0	1,354,500
カレンダー一収益	30,752,184	0	0	30,752,184	0	30,752,184
売店補助金等	4,688,568	0	0	4,688,568	0	4,688,568
受取補助金その他	[2,000,000]	[0]	[0]	[2,000,000]	[0]	[2,000,000]
受取補助金	2,000,000	0	0	2,000,000	0	2,000,000
受取寄付金	[62,135,542]	[3,451,901]	[0]	[65,587,443]	[3,451,901]	[69,039,344]
受取寄付金	62,135,542	3,451,901	0	65,587,443	3,451,901	69,039,344
雑収益	[74,979]	[2,500]	[3,319,465]	[3,396,944]	[99,800]	[3,496,744]
雑取利息	0	0	829	829	0	829
雑取	74,979	2,500	3,318,636	3,396,115	99,800	3,495,915
経常収益計	127,714,765	4,808,901	9,623,972	142,147,638	3,551,701	145,699,339
(2) 経常費用						
事業費	[277,453,741]	[25,708,840]	[770]	[303,163,351]	[0]	[303,163,351]
役員報酬	5,893,008	0	0	5,893,008	0	5,893,008
給料	82,069,219	14,731,022	0	96,800,241	0	96,800,241
臨時雇賃金	11,192,518	0	0	11,192,518	0	11,192,518
退職給付費用	9,030,043	2,113,970	0	11,144,013	0	11,144,013
福利厚生費	13,691,064	3,205,134	0	16,896,198	0	16,896,198
旅費	275,689	64,878	0	340,567	0	340,567
交通費	82,584	0	0	82,584	0	82,584
通信費	3,972,090	55,193	770	4,028,053	0	4,028,053
減価償却費	65,755,896	3,577,543	0	69,333,439	0	69,333,439
消耗什器備品費	1,717,738	935	0	1,718,673	0	1,718,673
消耗品費	1,648,706	45,508	0	1,694,214	0	1,694,214
修繕費	6,293,679	238,370	0	6,531,949	0	6,531,949
印刷製本費	2,661,519	0	0	2,661,519	0	2,661,519
刷製本費	6,314,654	581,534	0	6,896,188	0	6,896,188
宣伝広告費	6,424,862	36,112	0	6,460,974	0	6,460,974
光熱水料費	6,663,572	366,663	0	7,030,235	0	7,030,235
保険料	848,016	0	0	848,016	0	848,016
諸謝金	77,959	0	0	77,959	0	77,959
租税公課	1,450	0	0	1,450	0	1,450
家庭用管理費	4,161,724	0	0	4,161,724	0	4,161,724
委託費	13,023,673	0	0	13,023,673	0	13,023,673
展覧会費	5,355,633	0	0	5,355,633	0	5,355,633
催物費	3,223,792	0	0	3,223,792	0	3,223,792
調査研究費	7,440,998	686,567	0	8,127,565	0	8,127,565
雑誌費	753,233	5,411	0	758,644	0	758,644
カレンダー制作費	15,419,547	0	0	15,419,547	0	15,419,547
カレンダー原価	3,460,975	0	0	3,460,975	0	3,460,975
管理費	[0]	[0]	[0]	[0]	[32,853,282]	[32,853,282]
役員報酬	0	0	0	0	3,928,672	3,928,672
給料	0	0	0	0	17,315,458	17,315,458
退職給付費用	0	0	0	0	1,905,182	1,905,182
福利厚生費	0	0	0	0	2,888,577	2,888,577
旅費	0	0	0	0	293,731	293,731
交通費	0	0	0	0	3,435	3,435
文書費	0	0	0	0	319,132	319,132
通信費	0	0	0	0	110,154	110,154
減価償却費	0	0	0	0	3,950,450	3,950,450
消耗品費	0	0	0	0	6,105	6,105
印刷製本費	0	0	0	0	71,390	71,390
光熱水料費	0	0	0	0	366,663	366,663
諸謝金	0	0	0	0	1,621,523	1,621,523
雑費	0	0	0	0	72,810	72,810
経常費用計	277,453,741	25,708,840	770	303,163,351	32,853,282	336,016,633
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 149,738,976	△ 20,899,939	9,623,202	△ 161,015,713	△ 29,301,581	△ 190,317,294
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 149,738,976	△ 20,899,939	9,623,202	△ 161,015,713	△ 29,301,581	△ 190,317,294
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
雑収益	[672,395]	[0]	[0]	[672,395]	[19,440]	[691,835]
経常外収益計	672,395	0	0	672,395	19,440	691,835
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	672,395	0	0	672,395	19,440	691,835
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 149,066,581	△ 20,899,939	9,623,202	△ 160,343,318	△ 29,282,141	△ 189,625,459
当期一般正味財産増減額	△ 149,066,581	△ 20,899,939	9,623,202	△ 160,343,318	△ 29,282,141	△ 189,625,459
一般正味財産期首残高	△ 1,416,796,158	△ 67,080,977	2,471,387,379	987,510,244	△ 9,802,116	977,708,128
一般正味財産期末残高	△ 1,565,862,739	△ 87,980,916	2,481,010,581	827,156,926	△ 39,084,257	788,082,669
II 指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額	[△ 62,135,542]	[△ 3,451,901]	[0]	[△ 65,587,443]	[△ 3,451,901]	[△ 69,039,344]
受取寄付金	△ 62,135,542	△ 3,451,901	0	△ 65,587,443	△ 3,451,901	△ 69,039,344
当期指定正味財産増減額	△ 62,135,542	△ 3,451,901	0	△ 65,587,443	△ 3,451,901	△ 69,039,344
指定正味財産期首残高	1,050,360,091	128,796,831	2,485,298,540	3,662,455,262	△ 29,042,357	3,633,412,905
指定正味財産期末残高	988,224,549	123,344,730	2,485,298,540	3,596,867,819	△ 32,494,258	3,564,373,561
III 正味財産期末残高	△ 577,638,190	35,363,814	4,966,309,121	4,424,034,745	△ 71,578,515	4,352,466,230

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[6,303,662]	[6,725,790]	[△ 422,128]
特定資産運用益	[845]	[0]	[845]
公益事業収益	[64,858,744]	[64,806,346]	[52,398]
受取補助金等	[2,000,000]	[3,206,000]	[△ 1,206,000]
受取寄付金	[69,039,344]	[249,046,285]	[△ 180,006,941]
雑収益	[3,496,744]	[369,092]	[3,127,652]
経常収益計	145,699,339	324,153,513	△ 178,454,174
(2) 経常費用			
事業費	[303,163,351]	[296,496,854]	[6,666,497]
管理費	[32,853,282]	[32,538,320]	[314,962]
経常費用計	336,016,633	329,035,174	6,981,459
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 190,317,294	△ 4,881,661	△ 185,435,633
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 190,317,294	△ 4,881,661	△ 185,435,633
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	[691,835]	[1,288,186]	[△ 596,351]
経常外収益計	691,835	1,288,186	△ 596,351
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	691,835	1,288,186	△ 596,351
当期一般正味財産増減額	△ 189,625,459	△ 3,593,475	△ 186,031,984
一般正味財産期首残高	977,708,128	981,301,603	△ 3,593,475
一般正味財産期末残高	788,082,669	977,708,128	△ 189,625,459
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[0]	[10,000]	[△ 10,000]
一般正味財産への振替額	[△ 69,039,344]	[△ 99,046,285]	[30,006,941]
当期指定正味財産増減額	△ 69,039,344	△ 99,036,285	29,996,941
指定正味財産期首残高	3,633,412,905	3,732,449,190	△ 99,036,285
指定正味財産期末残高	3,564,373,561	3,633,412,905	△ 69,039,344
III 正味財産期末残高	4,352,456,230	4,611,121,033	△ 258,664,803

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券等の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価は、移動平均法に基づく原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物、什器備品は定額法により減価償却を行っている。

ただし、平成22年3月31日以前に取得した建物、什器備品は公益法人会計基準(平成20年4月11日 改正平成21年10月16日)適用の前事業年度末の帳簿価額を取得原価とみなし、残存耐用年数(新規に取得した場合の耐用年数から経過年数を控除した年数)による定額法により減価償却を行っている。

(4) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等は、税込方式により会計処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土地	1,139,685,568			1,139,685,568
建物	1,153,091,561		69,038,029	1,084,053,532
立木	1,000,000			1,000,000
美術品	1,139,435,206	2,498,685		1,141,933,891
古典籍	133,700,570			133,700,570
什器備品	980,002		489,999	490,003
投資有価証券	728,359,057		217,215,404	511,143,653
小計	4,296,251,964	2,498,685	286,743,432	4,012,007,217
(特定資産)				
積立預金(指定)	66,000,000		500,000	66,000,000
小計	66,000,000	0	500,000	66,000,000
合計	4,362,751,964	2,498,685	287,243,432	4,078,007,217

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	1,139,685,568		
建物	1,084,053,532	1,084,053,532		
立木	1,000,000	1,000,000		
美術品	1,141,933,891	1,139,933,891	2,000,000	
古典籍	133,700,570	133,700,570		
什器備品	490,003		490,003	
投資有価証券	511,143,653		511,143,653	
小計	4,012,007,217	3,498,373,561	513,633,656	0
(特定資産)				
積立預金	66,000,000	66,000,000		
小計	66,000,000	66,000,000	0	0
合計	4,078,007,217	3,564,373,561	513,633,656	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	2,439,289,950	1,355,236,418	1,084,053,532
建物(その他固定資産)	5,247,000	44,034	5,202,966
什器備品(基本財産)	42,126,653	41,636,650	490,003
什器備品(その他固定資産)	86,510,116	81,135,443	5,374,673
ソフトウェア	7,381,908	5,494,815	1,887,093
合計	2,580,555,627	1,483,547,360	1,097,008,267

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
投資有価証券	511,143,653	720,899,876	209,756,223
合計	511,143,653	720,899,876	209,756,223

6. 引当金の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,230,625	2,573,452	4,230,625	0	2,573,452

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
助成金	三菱財団	0	2,000,000	2,000,000	0	-
雇用調整助成金	東京労働局	0	19,440	19,440	0	
雇用安定助成金	東京労働局	0	431,208	431,208	0	
補助金						
文化芸術振興費	文化庁	0	241,187	241,187	0	
合計		0	2,691,835	2,691,835	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	69,038,029
積立預金取崩による振替額	1,315
合計	69,039,344

9. その他

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、株式により資産運用する。なお、テリパディブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

基本財産の明細、特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書への記載を省略する。

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。

監査報告書

私たち監事は、令和3年度における公益財団法人五島美術館の業務執行状況、及び会計帳簿並びにこれに関する資料につき監査いたしました。

その結果、正味財産増減計算書、貸借対照表及びその附属明細書並びに財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認めます。

また事業報告の内容は真実であると認めます。

その他、理事の職務状況に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認めます。

公益財団法人 五島美術館

監事 畔柳信雄 

監事 島本武彦 